令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	公益社団法人日本武術太極拳連盟
事業細目名	国際競技大会開催
事業名	第 3 回武術太極拳ワールドカップ大会
助成金額	51,879,000 円

令和 6 年度国際競技大会開催助成（国際競技大会開催事業）で公益社団法人日本武術太極拳連盟が開催した「第 3 回武術太極拳ワールドカップ大会」の実施状況について調査を行いました。

武術太極拳競技は、空手や新体操のように武術の「型」演武を採点で競う「套路（とうろ）競技」と、2 人が対抗して打撃や投げ技を掛け合う「散打競技」の 2 種類があります。

今回調査を行った武術太極拳ワールドカップは、前年度の世界選手権で 8 位入賞以上の選手のみに参加資格が与えられる、武術太極拳競技の頂上決戦とも言える大会です。

日本での国際大会開催は約 30 年ぶりとなり、運営にあたっては、国内大会との運営規程の違いや国際感覚の違いに苦労されたそうですが、多くの調整を重ねた結果、選手や審判のスムーズな動線の確保や会場付近のホテルの手配、綿密なタイムスケジュールに沿った運営、観客の多さなど、選手を始め関係者等からとても好評を得ることができたそうです。

■助成の意義

くじ助成を受けたことで、大会開催にあたっての資金確保と、入場料を抑えることが可能になったそうです。入場料を抑えられたことによりファンや関係団体が世界最高峰の大会を観戦しやすくなり、日頃の支援に対し少しでも還元することができたと同時に、集客数の向上にもつなげることができたとのことです。

また、競技床の設置等の設営や、音響等の演出を専門の業者に発注できたことで、事務局スタッフは運営に専念できたそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

情報発信として、関係各所へのポスターやチラシの配布、各種 SNS での発信の他、開催地である横浜市と協力して、同日開催の「横浜マラソン 2024」とコラボレーションしたデジタルスタンプラリーへ参加するなど、広く周知してもらえるように努めたそうです。

また、武術太極拳の元選手である女優・山本千尋さんに大会アンバサダーを務めていただくことで、これまで武術太極拳に触れる機会がなかった層にも興味関心を持ってもらえるよう取り組まれたとのことです。

■所感

調査時は套路競技の男子刀術を視察しましたが、空手や体操とも異なる動きに躍動感を感じま

した。前年度の世界選手権入賞者の演武ということもあり、出場する全ての選手の技術が非常に高くごく僅かなミスが明暗を分けていました。

武術太極拳全体としても、オリンピック種目への追加を目標に、競技人口の拡大とともに競技の魅力を届けるべく活動していきたいとのことでした。

本大会や 2 年後に名古屋で開催されるアジア大会を契機に、武術太極拳競技がより多くの方の目に届き、発展していくことを願っています。

（令和 6 年 10 月 27 日往査）

（写真）第 3 回武術太極拳ワールドカップ大会の様子

（※写真提供：公益社団法人日本武術太極拳連盟）



